

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ヒアルロンサン HA-LQ		
会社名	キューピー株式会社		
住所	東京都渋谷区渋谷 1-4-13		
担当部門	ファインケミカル本部		
電話番号	03-5384-7779	(大阪)	06-6369-3388
緊急時連絡電話番号	03-5384-7779	(大阪)	06-6369-3388
FAX 番号	03-5384-7879	(大阪)	06-6369-6934
推奨用途及び使用上の制限	化粧品用途 等		

2. 危険有害性の要約

- *本製品にはエタノール (CAS 番号: 64-17-5) を約0.1~1%程度含有しています。
(精製工程でエタノールを使用しており、乾燥工程で除去しておりますが、製品中に約0.1~1%程度残存しています。)
以下、エタノールに関する GHS 分類による危険有害性を記します。

GHS 分類 (エタノール: 約1%含有物質として) :

物理化学的危険性

該当しない

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2B

発がん性: 区分1A

生殖毒性: 区分1A

特定標的臓器毒性 (反復暴露): 区分1 (肝臓)、区分2 (中枢神経系)

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

眼刺激

発がん性のおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害 (肝臓)

長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ (中枢神経系)

注意書き:

安全対策

使用前に SDS を読むこと。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

この製品を取り扱うときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けること。

暴露又は暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。

気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物、容器を国、地方の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名又は一般名	ヒアルロン酸ナトリウム
別名	ムコ多糖
CAS 番号	9067-32-7

*通知対象物質：エタノール（CAS 番号：64-17-5）を約0.1～1%程度含有

4. 応急処置

吸入した場合	うがい等で鼻孔、口腔を清浄にする。 使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にする。気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	水洗する。必要に応じて医師の診断を受けること。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。必要に応じて医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、砂、粉末、泡沫等。
消火方法	消火剤を火元へ放射、散布して消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	保護具（保護メガネ、防塵マスク、保護手袋等）を着用する。
環境に対する注意措置	できる限り回収し、河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
回収、中和、封じ込め及び浄化方法と機材	粉塵発生を防止するため水でしめらせ回収する。少量はウエス等で拭き取り、多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	使用時は粉塵を立てないように注意する。 吸い込んだり、目に触れないよう適切な保護具を着用する。（8.暴露防止及び保護措置を参照。）
保管	直射日光、高温多湿を避け常温に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

保護具	保護メガネ、防塵マスク、保護手袋等、必要な保護具を着用すること。
-----	----------------------------------

9. 物理的及び化学的性質

外観等	白色～淡黄色の粉末
臭い	わずかに特異なにおい
pH	6.0～7.0（0.1%水溶液）
融点・凝固点	データなし
初留点・沸点	データなし
引火点	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重	データなし
溶解性	水に可溶。有機溶剤には不溶。
オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度	該当しない

10. 安定性及び反応性

通常の保管及び取扱いにおいて安定。

11. 有害性情報

ヒアルロンサン HA-LQ に関する情報

急性毒性	マウスにおける急性経口毒性 (LD ₅₀) : 10g/kg 以上 *
皮膚刺激性	皮膚一次刺激性 : 刺激性なし * 累積皮膚刺激性 : 刺激性なし *
眼刺激性	ヒトパッチテスト : 異常なし データなし
皮膚感作性	陰性
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	無毒性量 : 50mg/kg/day * *
特定標的毒性	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
亜急性毒性	許容一日摂取量 (ADI) : 34mg/kg/day * (ラットにおける 28 日反復経口投与より算出)
反復投与試験	腹腔内投与の無毒性量 : 15mg/kg/day * * 膝関節腔内投与の無毒性量 : 12mg/kg/day * *
変異原性	Ames : 陰性 * 哺乳類培養細胞を用いた染色体異常試験 : 陰性 * * マウスを用いた小核試験 : 陰性 * *
その他	マウス、モルモットを用いた抗原性試験において、PCA 反応、能動全身性アナフィラキシー反応はいずれも陰性と認められている。 * *

* : 弊社製 ヒアルロン酸ナトリウムのデータ

* * : 食品添加物「ヒアルロン酸」について・厚生省生活衛生食品化学課監修の「既存天然添加物の安全性評価に関する調査研究—平成8年度厚生科学研究報告書—」より

エタノールに関する情報 (GHS 分類による)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2B

ウサギを用いた 2つの Draize 試験において中等度の刺激性と評価されている (SIDS)

発がん性 : 区分1A

アルコール性飲料に含まれるエタノールの摂取による発がん性について多くの疫学データなどから十分な証拠があると評価されている (IARC)。

生殖毒性 : 区分1A

出生前にエタノールを摂取すると胎児性アルコール症候群と称される先天性の奇形を生じることが知られている (PATY)。なお、胎児性アルコール症候群は妊娠中に大量かつ慢性的にアルコールを飲んだアルコール依存性の女性と関連している。

特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分1 (肝臓)、区分2 (中枢神経系)

ヒトでのアルコールの長期大量摂取による肝臓への障害があると評価されている (DFGOT)。また、アルコール乱用及び依存症患者の禁断症状 (振戦症状、てんかん、精神錯乱) があるとの記述がある (HSDB)。

12. 環境影響情報

知見なし。

13. 廃棄上の注意

残余物及び包装材料の廃棄においては、関連法規ならびに国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連分類、国連番号

該当せず

その他

高温、水濡れ注意。乱暴に取扱い容器を破損させない。

15. 適用法令

・労働安全衛生法

通知対象物質：エタノール（約0.1～1%程度残存）

16. その他の情報

参考文献

NITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)化学物質総合情報提供システム:NITE-CHRIP
JIS Z7253:2012
Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals,(5th ed.,2013),UN

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありません。また、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。

また、注意事項は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱いを願います。